

ダイヤデータの構造は以下の仕様になっています。

行程, 車両, 前駅発車時刻, 鉢町駅発車時刻, 予備, 初期配置位置

使用できる文字はすべて半角の数字・空白・カンマだけです。1行ずつ改行してください。

各項目間は必ず1つのカンマで区切ってください、カンマは省略できません。

最大行数は99行までです(最終データ込み100行まで)。最終データは必須です。

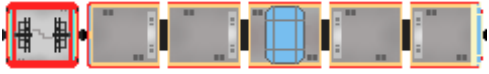

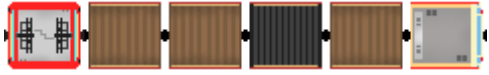

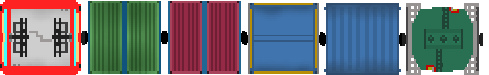
データ名は、半角・全角可、拡張子は.txt、文字コードはUTF-8、改行コードはLF

として下さい。行程の前後には空白文字は付けないで下さい。

【各項目の説明】

| 項目名 | 指定文字 | 説明 |
|---------|---------------------|---|
| 行程 | 1~8、 9 | 1: 下り 猿谷→鉢町→掌内高原 2: 上り 掌内高原→鉢町→猿谷 3: 上り方折返 猿谷→鉢町→猿谷 4: 下り方折返 掌内高原→鉢町→掌内高原 5: 下り終着 猿谷→鉢町 6: 上り終着 掌内高原→鉢町 7: 下り始発 鉢町→掌内高原 8: 上り始発 鉢町→猿谷 9: 最終データ 最終行には必ず指定してください。 |
| 車両 | 数字 | 前駅出発・初期配置時点での車両画像を指定します。 列車種別はこの車両指定と関連付けされています。 詳細は後記します。 |
| 前駅発車時刻 | 0~59 | 前駅の発時刻(分単位)です、時は省略します。 行程7, 8(始発)は、0とします。 重要 各行は前駅発時刻の昇順に並べてください。 |
| 鉢町駅発車時刻 | 0~59 | 鉢町駅の発時刻(分単位)です、時は省略します。 行程5, 6(終着)は、0とします。 |
| 予備 | 0 | 使用しません。0としてください。 |
| 初期配置位置 | 0 1、2、3、4 5、6 | 始発列車に使用する車両の配置位置を指定します。 1・2・3・4: 留置1・2・3・4、 5: 機1、6: 機2 始発以外は0とします。 |

【車両一覧】

| 車両番号 | 列車種別 | 画像 | 備考 |
|------|------|--|-----------------|
| 46 | 登山展望 |  | 解結不可 編成方向固定 |
| 47 | トロツコ |  | 〃 |
| 80 | 登山貨物 |  | 〃 |
| 87 | 単機回送 |  | |
| 88 | 直通貨物 |  | 機関車先頭 編成自動生成 |

【注意事項】

数字入力注意

全ての数字には**前ゼロは付けないで下さい**、誤動作の原因となります。

出発間隔、駅間運転時間について

前駅一鉢町間の運転時間は2分です。前駅出発間隔は**2分以上**の時間を開けてください。
鉢町駅出発は1分で続行可能です。

折返しに必要な時間

登山貨物折返しは**3分以上**、直通貨物折返しは**9分以上**を見込んでください。
直通貨物の機回りには貨物線を使用しますので、登山貨物との競合に注意してください。

始発・終着列車

始発・終着列車(車両 46、47、80)は、始発・終着とも**4列車**まで設定可能です。
始発・終着単機回送(車両 87)は、始発・終着とも**2列車**まで設定可能です。
終着列車は到着後留置線または機1機2に移動させます、再度運行する事は出来ません。
始発列車設定時は配置位置を指定してください。単機を留置線に配置する事は出来ません。

車両と行程の組み合わせ

登山貨物(車両80)は猿谷一鉢町間運行禁止。
直通貨物(車両88)・単機回送(車両87)は鉢町一掌内高原間運行禁止。

始発出発時間

旅客車両で留置1・2の車両の始発出発時間は3分以降、留置3・4の車両は2分以降の出発に設定してください。

登山貨物の始発出発時間は貨物積込時間を考慮して、留置1・2の場合は5分以降、留置3・4の場合は4分以降としてください。

データの並び順

データは**前駅発車時刻が昇順**になる様に順序を確認して記述してください。

始発列車はデータの先頭に記述して下さい。

始発列車が複数ある場合、上下方向問わず**鉾町駅出発時刻の早い順**に記述してください。

データの最後には最終データを記述してください。

【データ作成からプレイまで】

① エディターやメモ帳などでダイヤを入力します。

PC等で入力してスマホへコピーする場合、文字コードはUTF-8、改行コードはLFである事を確認してください。

② アプリを起動して、サブメニューを開き、[ダイヤ読込]ボタンをタップします。

③ データ選択メニューが開きますので使用するダイヤを選択してください。

アプリでのデータ読み込み時のチェックは上記仕様の一部でチェックを省略しています。

チェックOKでも正常に動かない場合は、項目間の組み合わせを確認してください。

エラーが分からない時や、正常に動かない時は作成されたデータを添付していただき、

foxworks@haruki-kb.com まで送っていただければお調べ致します。

以上 FoxWorks